

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胃がん検診全国集計データベースを用いた胃がん検診の実態調査研究

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和医科大学関連病院を含む全国の検診施設で、1982 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の間に胃がん検診目的に上部消化管内視鏡検査あるいは胃部 X 線検査を受けた方が対象です。

2. 研究目的・方法

日本では以前からピロリ菌に感染した方が多かったため、ピロリ菌感染が原因で発生する胃がんの発見を目的とした胃がん検診は、公衆衛生上の重要な事業でした。しかし、衛生環境の改善を主たる理由として、戦後の日本では急激にピロリ菌感染率は低下しているため、適切な胃がん検診の運営方法を再考する必要があります。本研究では、消化器がん検診学会の有する胃がん検診全国集計データベース（全国約 500 施設、データ総数約 2 億 3 千万件）を用いて、X 線、内視鏡それぞれの手法で発見された胃がん患者さんのデータを分析します。胃がんの発見率や、そのうち発見された進行がんの割合と、発見された年齢の関連を解析し、若年層で胃がん検診を実施することの有効性が低下しているかどうか調査することを目的とします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2030 年 3 月 31 日まで。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

検診受診者の年齢、性別、検診受診年月日、検診実施施設、生検の有無、胃がん発見の有無、発見胃がんの進行度（早期がんあるいは進行がん）を収集します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	昭和医科大学横浜市北部病院	石橋史明
研究協力者	東京大学	山道信毅
	北里大学	市田親正
	聖路加国際大学	井上真奈美
	国立がん研究センター	片野田耕太
既存試料・情報の提供のみを行う機関	消化器がん検診学会	松田尚久

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院消化器センター

氏名：石橋史明

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000